

令和7（2025）年度 日本体育大学 入学式（学長祝辞）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この良き春の日に晴れてご入学の日を迎えられた新入生の皆さんはもとより、手塩にかけて大切に育ててこられた保護者ならびにご家族の皆様におかれましては、喜びもひとしおのことと御推察申し上げます。日本体育大学の教職員を代表しまして、皆さんを歓迎するとともに、心よりお祝い申し上げます。

さて、皆さんが晴れて入学した日本体育大学は、今から134年前の1891年に日高藤吉郎先生によって設立された体育会がその始まりです。134年前と言えば明治時代の中頃で、まさに近代合理主義思想が社会に浸透し、また富国強兵政策が推進されていた時期でありますから、体育スポーツを通した「からだ」作りは非常に重要な命題でもありました。それから10年後には女子教育の中心的な理念となる良妻賢母教育が始まり、本学もいち早く女子部が結成されることになりました。ここにも女性の健全な「からだ」の育成に対して、体育スポーツの果たす役割の重要性が意識されてきたわけです。このように本学の始まりは、身体に対して体育スポーツを用いた教育を実践したり、学んだりする教育機関であったわけです。

しかし、現代に近づくにつれて、体育スポーツは身体の教育に対してだけのツールではなくなり、人間形成はもとより、健康や医療、あるいは国際協力や経済活動に対しても強力な力を持つものと認識されるようになりました。体育スポーツの果たす役割が拡大したわけです。いまの日本体育大学は体育スポーツを学問の核にして、それと接続するように学問領域を拡大しています。現在では5学部9学科を備える体育スポーツの総合大学となり、ここでは体育スポーツを通して「学問を学び」、「社会性を身に付け」、さらには「人間力を高めていく」ことをその根底に据えています。

また、本学は体育スポーツの学問領域や実技科目において、その大半を守備範囲に置くことができている大学でもあります。なぜなら、日本体育大学は体育スポーツの専門大学として、日本で最も多くの教授陣が在籍している大学であるからです。実技や学問の専門性の異なる専任教員が日本で一番多いということは、体育スポーツの学びがより広範になるとともに、より深い学びができるからです。ぜひ、安心して本学で学んでください。日本体育大学は皆さんの期待に応えることができるはずです。

ところで、皆さんにも、これから日体生になっていくために、ぜひ行なっていたきたい五つのことがあります。

一つ目として、挨拶は積極的におこなってもらいたいということです。日体大は伝統的に挨拶のすばらしい大学です。本学のアイデンティティは、実技や実習の授業、また、クラブ活動によって形成されてきました。ここには非常に重要な日体大としての身体を形成する技法が多く存在しています。そうした伝統への入り口が「挨拶」なのです。挨拶をされて嫌だと思ふ人はいないと思いますし、挨拶はコミュニケーションの基本でもあります。皆さんには、ぜひこの伝統を引き継いでいってもらいたいと思います。

二つ目として、積極的に人との関わりを持ち、友人を作り、交流を広げてもらいたいということです。大学時代に創り上げられる人間関係は、固い絆で結ばれます。また、出身地の異なる人々が集っていますので、地理的に見て非常に広範囲にわたって友人関係を築くことが出来る可能性があります。本学は日本全国、あるいは国を超えて学生が集まっていますので、人種、国籍、性別、年齢、障害の有無を超えた、多様な価値観や考え方と触

れあうことのできる環境にあります。また交換留学生として海外に足を運ぶことも価値観を変えることのできる良い機会になります。多くの友人を作るということは、多様な価値観に触れるということでもあり、また一生の財産にもなります。是非とも積極的に多くの友人を作っていただき、自分自身の世界を広げていただければと思います。

三つ目として、自己管理をしっかりしてもらいたいと思います。大学生になると生活のすべてを自分自身で管理することが求められます。特に、大学からの連絡は、メールやN-Passという皆さん一人一人がアクセスしなければならないネット上の教学システムによっておこなわれます。皆さんが行動を決定する上で、最も重要なことが正確な情報を得ることですが、そうした情報は自分自身で情報源にアクセスすることが必要です。日体大公式アプリを使って、常に、情報の確認を怠らないことが日体生としての自己管理に繋がるので、ぜひ実践していただきたいと思います。

四つ目として、授業には積極的に出席してください。授業は新しい出会いの場でもあります。先ほどお話ししたように、本学には非常に多くの教員が教鞭をとっており、その専門性も異なっています。つまり、今まで知らなかった世界と出会う可能性が多くあるということです。そのことによって、人生が大きく変わる可能性を持つのが大学です。例えば、本学の大学院生の多くは、大学入学時に研究者になるとか、大学の教員になるとか、そのような道を考えていた人は稀であります。ところが、大学時代のどこかの時点で大学院に進学したいと思い、そこからしっかり勉強することで、その後の人生が大きく変わった先輩たちも多くいます。大学の授業だけではありませんが、皆さんの人生を大きく変える出来事は、大学の中で起こることも多くありますので、大学の授業には積極的に出席していただきたいと思います。

最後に、やはり日体大に入学したわけですから、何らかの形でスポーツとつながっていただきたいと思います。学友会のクラブで、とことんスポーツに打ち込んだり、スポーツを支える側として活動することもあるでしょう。自分自身が直接スポーツ活動に参加できないとしても、スポーツの世界に関わり、その世界を少しでも理解することができれば、それは非常に素晴らしい経験となるはずです。スポーツへの関わり方は多様です。ぜひ日体大で密度の濃い関わり方を経験してみてください。

人生100年時代と言われるようになりましたが、その中で大学に在籍する期間はほんの一瞬の時間です。しかし、この大学生という時間は、間違いなく皆さんの人生を彩らせ、方向付ける重要な期間となるでしょう。自分自身の目標をしっかりと持って、一歩ずつ進んでいくことで、夢の実現に近づくはずです。学生生活の中で、今までに出会うことのなかった世界と繋がりを持ち、一回りも二回りも成長することを期待しています。日体大は、皆さんのこれからの人生を変えることのできる大学です。最後になりますが、本学での学生生活が皆さんにとって、実り多く、充実したものになるように、お祈りし、私の式辞といたします。

令和7年4月3日

日本体育大学 学長 石井隆憲